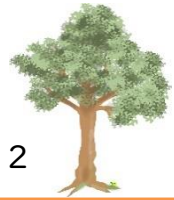




# 豊小だより

2021.12.2



今年度も、残念ながら福井市で一斉に行う教育ウィーク(学校を保護者や地域の方に開放して学校の様子を知っていただく週間)は中止となりましたが、感染状況が落ち着いていることもあり、予定していた学校保健委員会、授業参観、教育振興会行事である教育講演会を行いました。それぞれの概要と子供たちの感想を紹介します。

## 11月12日(金)学校保健委員会

自分の体の健康について子供たちと考える学校保健委員会。今年のテーマは「手洗いで毎日を元気に」。適切に手洗いをすることによって自分の体を感染症等から守ろうとする意識と行動の変容を図ることを目指しました。事前に撮影した保健委員会の動画や学校薬剤師さんのインタビュー録画を視聴し、正しい手洗いの大切さを理解し、学習したことを基に実際に手洗いをしてみました。お家の方に手洗いの方法を伝え、いっしょに手を洗う活動も行いました。ご家庭での取組にご協力いただき、ありがとうございました。



【1年 YA】いつもは20秒だったけれど、次からは30秒手洗いをしてウイルスを飛ばしたいと思います。

【2年 AK】今までハンカチをもってきていなくてパツパツとしていたから、今までの手洗いはまだ菌だらけだということが分かって反省しました。

【3年 HS】菌が付いている手で何かを掴んでしまうと、きれいに洗っている人が触って菌が付くので、迷惑をかけないように丁寧に洗います。

【4年 MT】今はコロナウイルスがはやっているので、手洗いという単純なことも大事になってくるので、気を付けていきたいと思います。

【5年 YY】消毒よりも手洗いの方がきれいになると分かりました。消毒液をつけても水で濡れていたら無駄なので、これからはきちんと手洗いをしたいです。

【6年 SA】5秒ではきれいにする事ができずと分かりました。消毒と手洗いの違いも分かったので、使い分けたいと思いました。



## 11月13日(土)教育講演会



今年は、チアドリームプロジェクト(福井商業高校チアリーダー-JETS・OB)によるチアダンスと講演会を行いました。チアダンスは、低学年・高学年の2回披露していただきました。サンボマスター「できっこないをやらなくちゃ」の曲に合わせていっしょにチアダンスを踊りました。また、JETS 時代に難しい課題に挑戦するときはみんなで「できる、できる、絶対できる!」と掛け声をかけて頑張った話を聞き、子供たち全員で唱和しました。質問タイムでは「いつからチアダンスを始めたのですか」「どれくらい体が柔らかいのですか」「やめたいと思ったとき、どのように乗り越えたのですか」といった問いに、実演も交えて分かりやすく教えてくださいました。「苦しいときは、これまで支えてくれた周りの人への感謝の気持ちを新たにすることで乗り越えられた」の答えに、子供たちは夢をもちその実現に向けて努力することへの憧れを抱いたようでした。その後、保護者の皆様には、演題「親子で実現!!～夢ノートでかなえるマイドリーム～」の講演を聴いていただきました。「あいさつ・返事・笑顔」が基本であること、夢をノートに書き、実現するためにどうしたらよいか考えて行動し、その足跡を残すことなど、実体験に基づく貴重なお話を伺うことができました。

\*豊小だよりは、本校のホームページからもご覧いただけます。右のQRコードからアクセスできます。→



【1年 MN】チアダンスを習ってみたいです。チアダンスはみんなを楽しく元気にさせられるからです。みんなが楽しく元気になったら自分もうれしい気持ちになるからです。

【2年 SE】自分も夢に向かって頑張りたいです。できないと思っていても、できると信じるのが大事だと思いました。

【3年 YH】合い言葉でできなかったダンスができました。合い言葉はホントなんだと分かりました。とても楽しくて笑顔になりました。

【4年 YH】お姉さんたちはすごくきれいに一つ一つの振り付けをやっていました。それだけ努力をして頑張っていることがすごいなと思いました。私も将来の夢に向かって諦めずに頑張りたいと思いました。

【5年 WS】信じて頑張ればできるんだなと思いました。努力をして頑張っている人を見ると頑張りたいくなります。人をそういう思いにできるのはすごいと思います。

【6年 TM】上手に踊っているだけでなく、ずっと笑顔で楽しそうに踊っていたので私も元気が出ました。辛くなったり、諦めなくなったりしてもたくさんの人に支えられていることを忘れないようにしたいです。



## “いじめ”防止のための取組について

本校では、「いじめ防止基本方針」に基づき、毎月子供たちに「いじめアンケート」を実施するとともに、保護者の皆様にも年2回「いじめアンケート」を実施しています。10月に実施した第2回アンケートにご協力いただきありがとうございます。事案を早期発見し、対処することができ感謝しております。

いじめ防止の取組の一環として、本年度は弁護士による「いじめ予防教室」を6年生対象に行いました。以下のような事例をもとに、いじめをなくすためにどうしたらよいか話し合いました。

### 【事例】

AとBは仲のよい友達だったが、ちょっとしたことからけんかとなり、AがBの肩を突き飛ばしてしまった。この話をBから聞いたCは「Aは親友に暴力を振るうひどいやつだ」とクラスメート数名に言った。話を聞いた5名ほどのクラスメートが面白がって「Aはひどいやつだ」と噂するようになった。BはAの噂に対して特に何も言わなかった。噂が広がっていきCは「Aみたいなうざいやつと口をきくのはよそう」とクラスメート数名に言った。DはCのしていることに「そこまでするのは行き過ぎではないか」と思ったが、何もすることはできなかった。こうしてAはひどいやつだという噂が広がり、クラスメートのほとんどがAと話をしなくなった。Aは悲しく思ったが、端からは元気そうに見えたので、みんなAは平気なのだと思っていた。

### 【授業後の感想】

- ・小さなNOをたくさん送ることが大切だと分かりました。傍観者として見ているだけでも、小さなYESを送っていると分かったので、これからは気を付けたいと思いました。自分もいじめがなくなる活動をしたかったです。(IM)
- ・自分が言われて嫌なことを人に言ったり、広めたりするのもいじめの原因になると分かったので、言葉に責任をもちたいと思いました。(MK)



\*学校生活の様子を本校ホームページからご覧いただけます。右のQRコードからアクセスできます。→

